



週報

2015～2016 年度 RI 会長 K.R. ラビンドラン
RI のテーマ 『世界へのプレゼントになろう』
第 2570 地区 ガバナー 高柳 育行

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会会場〕 狭山東武サロン〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 江原伸夫 会長エレクト 佐藤圭司 副会長 浜野貴子 幹事 小島美恵子

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1064 回(12 月 1 日)例会の記録

点 鐘 江原伸夫会長
合 唱 国歌斉唱 奉仕の理想
第 2 副 SAA 肥沼君 小室君
米山奨学生 趙 恩 恵さん

ですが、秩父には年間 300 を超えるお祭りがあるようで、全てを数えると祭りの数は 400 あるともいわれているそうです。そして、今では全国に知られている『秩父夜祭』のことを、地元の住民の方々は端的に【冬まつり】といいます。

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
36名	29名	79.41%	81.82%

会長の時間

江原会長



先週木曜日に、守屋先生の『瑞宝双光章』受章の祝賀会が催され、私共狭山中央ロータリークラブの会員もそのおめでたい席にお招きをいただきました。本当に素晴らしい祝賀会で、お集まりいただいた方々のお話を伺っていて、先生がいかにか皆様に愛されていらっしゃるのかがよくわかりました。

また先生ご自身のお話しかからも、今日に至るまでの軌跡を伺って本当に良かったです。これからも健康にご留意いただき、100歳になられても現役ロータリアンとして、ご指導をいただきたいと思います。宜しく願いいたします。

それでは、今から明後日 3 日～4 日の家族同伴親睦旅行で見学をする、『秩父夜祭』と『さきたま古墳』についてお話いたします。

出発日の 3 日の日本三大曳山祭の一つ (※京都祇園祭・飛騨高山祭) として知られている「秩父夜祭」

また近郷付近では【妙見まち】、北関東一帯の養蚕農家では【お蚕まつり】、そして東北から関東一円の露天商は【妙見さんの大市】とよび慣わしてきました。こうした通称はそれぞれにこの祭りがもつ性格をよく表しているが、正式には、いうまでもなく秩父地方の総鎮守、秩父神社の年に一度の大祭であります。

全国の古いお社は、おおよそ土地の神話的風土をその社地と祭礼とで体現してきているものです。秩父神社もまた関東屈指の古社として、よく秩父盆地の生活風土を昔ながらの神話的世界に包み込んで、今はとかく薄れがちな故郷の風貌をなおも色濃く伝えています。

秩父夜祭は、そうした故郷の祭礼文化として住民たちのかけがえのない行事であり、また参詣や見物に訪れる多くの客人たちの望郷の心を揺さぶる祭礼であり続けています。この大祭を彩る祭礼行事は、重量感あふれる豪華な笠鉦と屋台とが、勇壮な太古囃子のリズムに乗って曳きまわされ、屋台歌舞伎や曳き踊りを上演することと、それに加えて冬の夜空に贅沢なほどの、打ち上げや仕掛けの大花火を競演することで、よく知られています。だが実は、いずれも秩父神社の夜の神幸祭に伴う「付けまつり」、つまり付帯の神賑わい行事として、

江戸時代の後期から明治・大正にかけて盛んにしたものに他ならないでしょう（※寛文年間{1661～1672}には祭りが存在していたという記録があり、300年余りの歴史がある）。

そして、その核をなす祭神出御の神事は、はるか古代に発祥した地元風土の神を祭る形式を今に伝える、はなはだ貴重な伝承祭祀なのであります。そこで、この伝統文化の継承に意義ありと認められたからこそ、昭和54（1979）年2月3日に、「**秩父祭の屋台行事と神楽**」として、全国に数少ない国の『重要有形・無形民俗文化財』に指定されているのです。

例えば、宝永六年（1709）に時の代官へ提出した「**秩父領百姓年中業覚**」という文書があり、それには当時の年間行事の中に、旧暦正月の20日から2月3日までを「**妙見神事**」と称し、郡内全ての住民が男女それぞれの仕事や娯楽を控えて物忌み精進につとめている、と記されています。そしてさらに、10月の20日から11月3日までをも同じく「**妙見神事**」とあって、同様の物忌み精進をすると報告しています。これは、秩父郡中の農家が、総鎮守の春祭りである旧暦2月3日の「**田植え祭**」と、冬祭りである旧暦11月3日の「**妙見祭礼**」とに際して、それぞれ十数日のあいだ身边を正常に保つ敬虔な営みにほかならなかったわけです。しかも注目してよいのは、初夏の4月8日と晩秋の10月上旬には「**武甲山祭**」という行事があって、郡内一円の領民が「妙見岳」とも仰ぐ武甲山に登拝していることです。

現行12月3日の夜祭りを巡っては、今でも地元で語り伝えられる微笑ましい神話があります。それは、神社に祭る妙見菩薩は女神さま、武甲山に住む神は男神さまで、双方の神様はお互いに相思相愛の仲であるのに、実は武甲山の男神さまには近くの町内に静まるお諏訪さまという正妻がいるため、お二方の神様も毎晩逢瀬を重ねるわけにもゆかず、かろうじて夜祭りの晩だけは正妻のお諏訪さまの許しを得て、年に一度の逢引きをされるということのようです。

秩父神社例大祭の期間は、今日12月1日から6日までで、明日の2日は【宵宮】（**宵祭り・宵まち**）といわれ、前夜祭に近いものになりますが、晩

には『お諏訪渡り』とあって、神幸路の途中にある諏訪神社に予め神幸祭執行を報告する神事があり、翌3日の晩には、神幸行列を先導する六台の笠鉾と屋台も、この諏訪神社に近い地点を通過するときには勇壮な屋台囃子の鳴りを潜めて静かにする例が守られているということも、この祭りが今に続いている所以だろうと思います。確かに武甲山は、その山麓に対面して鎮座する秩父神社の、いわば神体山にあたり、盆地の南面を遮って一千メートルほどそそり立つ山容は、山麓に広がる秩父市街を見守る巨大な屏風をなすが如くである、と評されており、そしてこの夜祭には、市街中央の本社から祭神が武甲山に向けて出立され、この山を正面に望んで「お花畑」という名を持つ高台の「お山」神事によって、神体山に還り鎮まるという古代祭祀の様式が、今に潜んでいるというという事になります。

今回、初めて「秩父夜祭」を観覧することになり、日本三大曳山祭りのこのお祭りのことを事前におきたいと思い、調べているうちに今まで以上にその魅力を感じましたので、ほんの一部ですが、ご紹介させていただきました。当日の夜は、実際に触れてみて、その迫力とともに荘厳さを存分にお楽しみいただきたいと思います。

そして4日の予定には、当初群馬県にある世界遺産に登録された、富岡製糸場の見学を考えておりましたが、当クラブでは、世界遺産に登録される以前にすでに訪れていたという事でしたので、園部委員長の機転の利いた対応もあり、さきたま史跡の博物館の見学（古墳群見学）というコースに予定を変更しておりますので、どうか楽しみにしてください。

この件は、皆様はすでにご存じのことで、いまさらなぜ？の感もあると思います。実は昨年度の青少年支援プロジェクトとして、ロータリー財団の補助金も活用し、狭山市内の県立高校へ物品を寄贈してまいりましたが、その席には、県の教育局の方々がその都度同席し名刺の交換もさせていただきました。その時から、私は県の方々からいただく名刺の左上のマークが気になっておりましたところ、先日、ある県議会議員の方からいただいた名刺の左上にも同様のマークがございましたので、な

ぜ名刺にこのマークが印字されているのかを伺ったところ、「県のマーク」です、とのお答えをいただきました。このマークについてはご存知の方も多々いらっしゃると思いますが、生まれてから今まで埼玉県で暮らす根っからの埼玉県人が知らなかったことを恥ずかしく思い、そこで、このマークについて調べてみました。そうしましたら、4日に見学を予定している古墳群に結びついておりましたので、今日はそのことについてお話しいたします。長い前置きがここでやっとながりました。

このマークは**埼玉県の憲章**で、勾玉16個を円形に並べたものだそうです。勾玉は、古代人が装飾品などとして大切にしていたものです。埼玉県名の由来である「幸魂（さきみたま）」の「魂」は、「玉」の意味でもあり、勾玉は、埼玉県にゆかりの深いものとなっています。また、勾玉を円形にしたデザインは、「太陽」・「発展」・「情熱」・「力強さ」を表しています。県旗は県章を白地に赤く染め抜いたもので、昭和39年9月1日に制定されました。県旗及び県章は、訓令により擁護尊重義務が県職員に課せられています。よって、県の職員であることを表す意味からも、名刺などに使用されているのでしょう。

では、どうして埼玉県旗・県章の勾玉は16個なのでしょう。埼玉県の行田市に前玉神社（さきたまじんじゃ）、別名・**幸御魂神社**（さきみたまじんじゃ）ともいいますが、今回見学に行く、さきたま古墳群に隣接しております。この神社は、4世紀から5世紀に県立されたという伝承があり、埼玉起源の神社といわれていますが、この幸御魂は、太陽のような暖かさと力強さを表すという事で、さきたま古墳群などから、勾玉を16個輪にした形になったそうです。埼玉という字が当てられたのは、この地を詠んだ「万葉集」の歌、「小埼沼」と「埼玉の津」という歌からとったようです。前玉神社本社に登る階段を挟むように、左右の石碑（**万葉燈籠**）に刻まれています。

右側に「埼玉の津」の碑

※『佐吉多万能 津爾乎流布禰乃 可是乎伊多美都奈波多由登毛 許登奈多延曾禰』
埼玉(さきたま)の 津(つ)に居(を)る船の 風をいたみ 綱は絶ゆとも 言(こと)な絶えそね

【訳】・・・埼玉の渡し場に停まっている船の（船を留めておくためのその）綱が、烈しく吹く風のために切れることがあっても、私たちの恋は切れて絶えないでくれ（例え二人は逢えずとも、決して心伝える便りは絶やささないで下さい）。

【解釈】・・・ 現在の行田市下中条のあたりが詠まれた地である。利根川の流路の船着き場であり、下総の国府から来た水路でかなり賑わいがあったと思われる。現在の行田市も、利根川土手あたりをはじめ赤城風のように烈しく風が吹く。

北風の強いときは自転車を漕いでも、風に向かうと全然進めないくらいである。そのことを考えると烈しく吹く風の中で揺れたり激しく船に叩きつけられている「もやいの綱」を見ている実感が伝わってくる歌である。

左側に「小埼沼」の碑

※『前玉之 小埼乃沼爾 鴨曾翼霧 己尾爾 零置流霜乎 掃等爾有欺』

埼玉の 小埼の沼に 鴨そ翼(はね)霧(き)る 己(おの)が尾に 降りおける霜(しも)を 払(はら)ふとに あらし

【訳】・・・ 埼玉の小埼の沼で、鴨が羽ばたきをして水しぶきを上げている。自分の尾にふり降りた霜を払おうとしているようだ。

【解釈】・・・ 虫麻呂は常陸の国守藤原宇合の臣下であり、ここ埼玉以外でも、美里町広木で歌を詠んでいる。公用の旅で訪れたときに、目に触れた情景に対して感じたままに歌を詠んだのであろう。

前玉神社には、まだまだ関心事が沢山ありますが、その楽しみは現地で直接感じてきたいと思っています。

※喜寿お祝い

吉松孝吉会員

12月2日が私の誕生日で、77歳となります。今日このようなお祝いを頂けるとは夢にも思わず参りました。



毎日10分位は歩けるのではないかと思います、稲荷山公園を歩いています。腰が疲れてしまい、どうしても座って休まなければなりません。

昨年6月22日以降ゴルフをしておりません。足腰を鍛えなければいけないのですが、鍛えるといっても歩けないのだから仕方ないと、鍛えるという事は大変な事なのだと思います。今日の思い出を噛みしめて、元気に過ごしたいと思っております。どうもありがとうございました。

米山奨学生

皆さんこんにちは。
今日から12月がスタートしました。今日は私にとって特別な日なのですが、8月から11月までに頂いた奨学金と、そして今日12月分の奨学金を頂いて、今日大学の最後の学費を払うことができました。学費は春と冬、学校が始まる前に出すことになっているのですが、日本の大学は韓国と比べて、学費を払うことを延長することができるので、留学生としてすごく良い制度だと思いました。締め切りは12月30日までなのですが、今日12月1日に皆さんのおかげで最後の学費を払うことができ、本当にうれしく思います。残りの大学生活の中で卒業論文を終わらせないと卒業ができないので、卒業論文を頑張っていきたいと思っております。

趙恩恵さん



幹事報告

小島幹事

1. 第2570地区ガバナーエレクトに前嶋修身様(熊谷RC)決定について。
2. 第2570地区ガバナーノミニ栗山昇様の辞任について。
3. ガバナーノミニ辞任に伴う2017-2018年度ガバナー推薦について、今年度指名委員会(5名)で指名をしていただく事についての賛否について。
4. 第2570地区2015-2016年度地区大会。
2016年3月26日(土) 埼玉グランドホテル本庄・
3月27日(日)カインズ本部カインズホール
5. 地区並びに地区社会奉仕部門より、埼玉県警察の協力を得ての「交通安全啓発のぼり旗」事業について。

6. 地区 青少年奉仕部門委員会より「第5回来日・派遣学生オリエンテーション」の開催について。
7. 公益法人狭山青年会議所より、新年賀詞交歓会について。H28年1月20日 午後6時30分
8. 入間基地「新年賀詞交歓会」について。
H28年1月7日 入間基地「東体育館」
9. 受贈会報 飯能RC 所沢西RC

委員会報告

園部親睦活動委員長

明後日の秩父夜祭の旅行の簡単なご案内をしたいと思っております。先ほど江原会長から詳しいご案内がありまして、大分楽しみになってきましたが、必要なことだけ簡単にお話致します。

まず、参加者の方にはパンフレットをお配りしております。もしお手元にお持ちでなかったら言ってください。

必ず守って頂きたいことだけ申し上げます。まず出発は3日(木)12:30です。いつものバス停と言えばおわかりでしょうか、坂を上った右手にあるバス停から出発致します。バスは12:10位に来ます。

そのまま農園ホテルに直行するのですが、必要な所でちょこちょこ休憩を入れたいと思っております。だいたい14:30に到着予定です。

その後皆さん部屋に入り、1時間位ゆっくりして頂きたいと思っております。夕食は16:15にスタートしたいと思います。

このパンフレットには(例会)とありますが、例会はございません。行きのバスの中で例会を行う予定ですので、当日の夕食時は単なる宴会という形で、約1時間、飲んだり食べたりと考えております。

宴会が終わってから17:30~18:00に、ホテルのシャトルバスにて国道まで下ります。そこから皆さん歩いて、八幡屋という秩父神社の目の前のお店で2次会を行います。そこで軽食を食べながら、お酒を飲むという形になっております。

次の日は、さきたま古墳に参ります。これは学芸員さんに簡単な説明をして頂くことになっておりますが、江原さんがかなりお勉強をされておしまし

たので、江原さんに伺っても良いのではないかと考えております。

ホテルは 9:00 に出発致します。狭山市に到着は 15:00 を目指しておりますので、皆さん宜しくお願い致します。

・・クラブ協議会・・(年次総会)

佐藤会長エレクト

皆様こんにちは。

2016 年度の役員発表ということで、昨日までバタバタと、皆様には夜遅くまで電話をかけておりました。江原さんの気持ちが昨日くらいからよくわかるようになりました。



■役員・理事を発表させていただきます
(敬称略)

会長：佐藤圭司

直前会長：江原伸夫

会長エレクト：現状未定（来年度の 7 月までには決めたいと思っております。）

副会長：小島美恵子

幹事：益子伸明

会計：栗原成実

SAA：清水幸彦

理事：柴田 譲、古谷 博、稲見 淳、浜野貴子、小室昭男、松浦法子、佐々木康、園部明彦、田端都女子

副幹事：清水幸彦、副 SAA：東 美栄

監査：若松泰誼、栗原憲司

皆さん本当に快く受けて下さいまして、ありがとうございます。このメンバーでなんとかやっていきたいと思えます。

今の所ほぼ確定だと思っておりますが、決まっていないのがエレクトですので、ここが決まる事によって少し変更があるかも知れません。来年の 7 月までには何とかしたいと思っております。

続きまして私の方針ですが、先ほど幹事報告で発表がありましたが、熊谷の前嶋修身様と言う方に決定したそうです。ガバナーの方針が全くこちらに入っておりませんので、ガバナーの方針が

出てから私の方針をと思っておりますが、私の気持ち、考えの中では、私は治療院、スポーツマッサージをしておりますので、体のことについて色々な方と触れ合っております。それを皆さんとも一緒にやっていきたいと思っております。

来年度狭山中央ロータリーとしては、やはり市民の、狭山市の中で色々頑張っている方を応援したいと思っております。色々と案があったのですが、今の所決まっているのが、ボランティア活動で行っております、狭山の産後ケア、赤ちゃんが生まれた後のお母さんたちが、産後ケアを広めるために活動しているボランティア団体「さやマーチ」です。どういったことをしているかと言いますと、人間の方で次世代交流ということで、数年前に乳幼児を持つ人間市の母親サークルが開いた産後ケアの講座に、子育てを終えた熟年世代の地域ボランティアと協力して、乳児や母親、ボランティアの間で世代を超えた地域交流の輪が広がっているということが新聞に載りました。ちょっと面白いと思っていたところ、ちょうどそこの代表者が私の治療院に来ました。34 歳で第 2 子を出産されたところでしたが、話をしているうちに、3 世代交流というものをやっているということを知りました。3 世代交流とは、赤ちゃん、お母さん、ボランティアで来て頂けるおじいちゃん、おばあちゃんです。このおじいちゃん、おばあちゃんにピンときまして、ロータリーに良いなと思えました。

自分達のお孫さんたちも出産をして、産後で悩んでいる方も沢山いらっしゃいますし、私の治療院にも、産んでからこんなではなかったとマタニティーブルーで自閉症になってしまった、外に出たくない、外に出ることができないくらい体がおかしくなってしまった、夜寝られない、旦那さんと話もしたくない、そして離婚に至ってしまうという方が増えてきています。そんな時に彼女と会って話して、やはり人間一人で、マンションの一室で子供を全く初めて育てる、例えば北海道や九州から狭山にきて、旦那さんは昼間会社に行き、子供と私だけでは本当に不安で仕方がない、隣近所との付き合いも全くないという方が狭山も多いということです。そうした方たち皆で集まろう、集まって何をするかと言いますと、体が健康でなければ積

極的に色々な事が出来ないなので、バランスボールやストレッチと簡単な動きをして汗をかきながら、そしてその汗をかいている時、子供をボランティアのおじいちゃんやおばあちゃんが横で面倒を見てくれる、お乳の時間になればお乳をあげるといった、本当にほのぼのとした中で活動をしているということです。

終わった後にはコミュニケーションを、お茶を飲んだり、お菓子を食べながら、自分達の悩みを話すということで、非常に良い形になっているということです。そしておじいちゃんおばあちゃんはどうしているかといいますと、もう旦那さんが亡くなって私一人だ等といった時に、自分の娘や孫が、同じような悩みを遠くでもっていることがあるので、近くの狭山で参加したいという方が結構いるらしいのです。コミュニケーションもとれて体も良くなるということで頑張っている人たちがおりまして、そこに朝日新聞等が取材に来て、そして狭山市でも狭山市民大学で講座が開かれながらすこしずつやって行っているという状況です。

これを中央ロータリーとして何か応援出来ないかと思ひまして、今試行錯誤しております。私も3日に秩父に行く前に、30分だけ顔を出して、その人達と色々お話をし、今準備段階です。来年度には皆さんと共に、協力して頂きたいと思っております。少しでも何かお役にたてれば、狭山は子育てにはすごく住みやすい町だと、全国から集まって来て下さいと言えるような団体、お話を確保し、そこに中央ロータリーも応援しますと言えたら素晴らしいと思ひまして、是非これはやっていきたいと思ひます。その時に是非皆様も、お孫さんがいらっしゃる方も沢山おりますので、顔を出し、一緒にできれば良いと思ひます。そんなことを少し思っております。一生懸命今勉強しているところです。来年度には色々のご協力をして頂くとありますが、宜しくお願い致します。

本当に私も初めてのことで緊張をしておりますが、皆様のご指導ご鞭撻の上で何とかやっていきたいと思ひますので、今後とも宜しくお願い致します。



江原君 先週木曜日は守屋先生の「瑞宝双光章」受章祝賀会にお招きいただき本当にありがとうございました。私の勘違いからご迷惑をおかけしました、申し訳ございませんでした。明後日からの家族同伴親睦旅行はお天気に多少の不安はありますが、楽しい旅行にしたいと思ひます。よろしくお願い致します。

小島君 米山奨学生、趙恩恵さんようこそいらっしゃいました。近況報告楽しみにしていました。

稲見君 守屋先生、叙勲おめでとございました。佐藤エレクト、クラブ協議会頑張ってください。

守屋君 先日は私の叙勲のお祝いに皆様おいで下さいまして大変ありがとうございました。

沼崎君 次男のところに、第2子が生まれました。私の8番目の孫です、名前はまだ無い。女兒で母子共元気です。

佐藤君 月も変わり師走になり、気ぜわしい日々ですが、お酒と寒さ対策には気をつけましょう。本日のクラブ協議会私が発表ですが、お手柔らかに宜しくお願いします。

吉松君 “喜寿祝” 私の誕生日は12/2です、丁度77歳に当たって、秩父の夜祭も重なり私の人生における素晴らしい出来事であり、家族と共に祝いたいと思ひます。有難うございました。

会員誕生祝 佐々木君、小幡君、吉松君

夫人誕生祝 松浦君

結婚記念日 高田君、田中君